

資料2 別紙2 分析の観点

ア	2040年とその先までの医療需要の予測
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立社会保障・人口問題研究所の人口予測やDPCデータ、病床機能報告、外来機能報告、レセプトデータ等も必要に応じて活用し、より実態に近づけた診療科別、症例別の医療需要を示すこと。
イ	各病院が備えるべきスペックの整理
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「複数案」ごとに、各病院が備えるべきスペック（医師数、看護師等のコメディカルの数、若手医師確保や医療水準を維持するために必要な症例数、設備・機器等）について、診療報酬改定の動向等を踏まえながら整理すること。 ・ 「A案：現在の機能を維持した場合」については、現在急性期医療を担っている病院、「B案：医療機関機能別の役割分担を行った場合」及び「C案：再編・統合を行った場合」については、急性期拠点機能を担う病院、高齢者救急・地域急性期機能を担う病院、在宅医療等・連携機能を担う病院の分析を必須とし、可能な限りその他の病院についても分析すること。
ウ	スペックを満たすための条件整理、コスト分析
	<p>複数案ごとに各病院が備えるべきスペックが現実的に確保が可能か、次の観点から分析し結果を示すこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の確保に関する検証については、秋田大学医学部医局のほか、弘前大学医学部、岩手医科大学医学部等、県内の病院に医師を派遣する機能を持つ大学の医局に対し十分なヒアリングを実施の上、各病院の医師の確保の可能性について分析を行うこと。 ・ 看護師の確保に関する検証については、県内の人口動態、看護系大学・看護師養成所の定員、充足率、進学実績を踏まえた将来の供給予測に加え、他県の先進事例を踏まえ、福利厚生充実、魅力的なキャリア形成の仕組みづくり等、看護師確保にあたって有効と思われる手法の分析を行った上で、これらを実施するにあたってのコストも踏まえて分析すること。 ・ その他事業者独自の視点での分析方法を提案すること。 ・ 「複数案」のうち「B案：医療機関機能別の役割分担を行った場合」、「C案：再編・統合を行った場合」を実現するための課題を提示すること。 ・ 「A案：現在の機能を維持した場合」については、現在急性期医療を担っている病院、「B案：医療機関機能別の役割分担を行った場合」及び「C案：再編・統合を行った場合」については、急性期拠点機能を担う病院、高齢者救急・地域急性期機能を担う病院、在宅医療等・連携機能を担う病院の分析を必須とし、可能な限りその他の病院についても分析すること。
エ	経営分析
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の人口や上記ア～ウの分析結果のほか、診療報酬改定の動向、病院のハードの状況（建築年数、建替修繕を要する場合は建物への投資額、医療設備の更新の要否）、現在の財務状況（借入金等）等を踏まえ、将来の経営が成り立つかについて、2040年のシミュレーション結果を示すこと。 ・ シミュレーション結果については、予想損益計算書、予想貸借対照表、予想キャッシュフロー計算書を作成すること。 ・ 経営分析にあたっては、「A案：現在の機能を維持した場合」については、現在急性期医療を担っている病院、「B案：医療機関機能別の役割分担を行った場合」及び「C案：再編・統合を行った場合」については、急性期拠点機能を担う病院、高齢者救急・地域急性期機能を担う病院、在宅医療等・連携機能を担う病院の分析を必須とし、可能な限りその他の病院についても分析すること。
オ	住民への影響
	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの案について想定される住民への影響（メリット、デメリット）を提示すること。

カ	行政を含む地域での役割分担
	<ul style="list-style-type: none"> ・ エの経営分析の結果を踏まえて医療提供体制の維持に必要なコストを提示すること ・ コスト負担も含め地域での役割分担が成功している他地域の事例を示すこと
キ	その他必要な分析
	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他、必要な分析項目を提案の上、結果を提示すること。